

ALT/ハイスティの

英語であれこれ 第2回

Christy



日本での初めての夏祭り

輝きを放つ準備はできていますか？私はこれまでの人生でたくさんの花火大会を見てきました。しかし、ここ日本で花火大会を経験できることがこれほど素晴らしいものになるとは予想していませんでした。

期せずして、友人たちがいわきの夏祭りに参加することを決めていました。どれほど混雑するかを覚悟していなかったため、駐車場を見つけるのが大変でした。1月の第3日曜日に開催されるセブ島の有名なシヌログフェスティバルを思い出します。

話は戻りますが、花火を見ていると本当に素晴らしくて目が離せなくなり、ここが日本だということを実感しました。私はかなり感情的になり、目には涙があふれ、本当に圧倒されました。私が泣くのがどれほど気まずかったか想像していただければと思います。花火の素晴らしさを言葉で説明するのは難しいです。でも、少々お待ちください。あちこちで打ち上がるさまざまなサイズと色合いがあり、どれも明るく、素敵で夜空が輝きだされました。それは私の中で感情が溢れ出る盛大で楽しいお祝いのひと時でした。感慨にひたりながらも写真を撮り続けました。その日は浴衣を着ることができませんでした。どこで買えるか分からなかったからです。しかし、浴衣で着飾ったとてもたくさんの女性を見て、その様々な色と髪型に驚きました。屋台もたくさん出ていて、皆さんの楽しそうな様子が伝わってきました。屋外でパーティーをしていて、それがとてもいい感じで素敵でした。

いま、私たちは皆、いつもの日常に戻り、夏休みが終わりました！私の花火の写真をご覧ください。みなさんはどんな夏休みでしたか？直接会えたらぜひ花火の写真をを見せてくださいね。ぜひ見てみたいです。本当に！秋の季節が待ちきれません！覚えてほしい言葉があります。「人生を精一杯生きて、毎日を輝かせましょう！」

First Summer Festival in Japan

Ready for the sparkle? I've seen a lot of fireworks displays in my entire life. But I wasn't expecting how magical it would be to witness fireworks display here in Japan.

Unexpectedly, my friends decided to take part in Iwaki's Summer Festival. I wasn't prepared for how crowded it was, that it was so hard to find a parking space. It reminds me of the famous Sinulog Festival in Cebu, which is held on the third Sunday of January.

Back to my story, as I watched the fireworks, it was really magnificent that I can't take my eyes out of it and I realized that I am really in Japan. I became quite emotional, my eyes welled up with tears, and I was completely overwhelmed. If you can image how awkward it was for me to cry. It's difficult to put into words how stunning the fireworks were. But bear with me as I try. Some here, some there, various sizes and hues, all bright and lovely. The sky then lit up. It was grand and joyful celebration that brought up a flood of emotion within me. Even though I was filled with emotion, I continued to take pictures. I didn't get to wear Yukata that day because I didn't know where to get it. However, seeing so many gorgeous women dressed in Yukata, I was blown away by the variety of colors and hairstyles. There were a lot of food stalls, and I could tell how joyful everyone was. They also had picnics, which were incredibly cute and wonderful.

Today, we all return to our usual routines. Summer vacation has come to an end! Please see my fireworks pictures. What about you? Please do not hesitate to show me your fireworks pictures if we meet in person. I'd love to see it. That's all! I can't wait for the fall season! Please keep this in mind at all times. "Live life to the fullest and shine brighter every day!"



としょしつだより

10月11日は、**国際ガールズデー**

女の子だからというだけで学ぶ機会を奪われてしまうという現実がまだ存在します。その背景には、女性には教育が必要ではないという価値観、学校が近くに無いという物理的制約など、理由はさまざま。10月11日は、国連が定めた「国際ガールズデー」。男の子に比べて不就学率が高く、貧困で苦しんでいる世界中の女の子たちを勇気づけようと2012年に制定されました。Power to the Girls!

◆関連図書

わたしはマララ
マララ・ユスフザイ・著
パキスタン北部にやって来たイスラム武装集団タリバンは、人々から音楽を奪い女子が学校に行くのを禁じた。少女マララは当地の実情を英国BBCのサイトへ日記形式で連載、女子が教育を受ける権利を訴えて世界の注目を浴びた。ノーベル平和賞を史上最年少で受賞した著者の手記。ジェンダーフリーを再考する一冊。



◆一般図書

本棚には裏がある
酒井 順子・著
仕事、暮らし、家族、女の人生…。表があれば裏もある。本の世界から平成・令和の世相を鋭く読み解く読書エッセイ。著者ならではの軽やかな文章で、時代の空気を見事に切り取った充実の本、秋の夜長に読書したくなる、そんな一冊。



◆児童図書

さみしい夜にはペンを持て
古賀 史健・著
うみのなか中学校に通うタコジローは、学校にも居場所がなく、自分のことが大嫌い。ある日、不思議なやどかりおじさんと出会ったタコジローは、その日からどんどん変わっていく…。自分の考えをつまやく言葉に出来ない、そんな悩みを持つ少年少女にお薦めの一冊。




10月							11月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
29	30	31					26	27	28	29	30		

は休室日
開室時間：午前8時30分～午後5時15分

- ### ◆新着図書紹介
- ・私たちの世代は／瀬尾 まいこ
 - ・この夏の星を見る／辻村 深月
 - ・親がいるとなぜか苦しい／リンジー・C・ギブソン
 - ・リボルバー／原田 マハ
 - ・手塚治虫と戦争／手塚 治虫
 - ・さみしい夜にはペンを持て／古賀 史健
 - ・メメンとモリ／ヨシタケ シンスケ
- ★その他、寄贈本については、8月に2名の方から14冊寄付頂きました。
また、役場総務課から1冊の推奨本を寄付頂きました。

◆本のリクエスト・リサイクルについて

図書室では、利用者から本の購入リクエストを受け付けております。
また、ご家庭で不要となった本をリサイクル図書等として活用しております。
詳しくはスタッフまでお尋ねください。



- ### ◆8月の貸出ランキング
- 1位 街とその不確かな壁／村上 春樹
 - 2位 夜はつとところ／恩田 陸
 - 3位 荒地の家族／佐藤 厚志
 - 4位 小説すずめの戸締り／新海 誠
 - 5位 パンダのおさじとフライパンダ／柴田 ケイコ